TOGETHER WITH RURAL PEOPLE

笑顔のふれあい コミュニケーション



救急医療 高度医療

在宅医療 福祉

保健活動 研究 教育活動

文化活動 スポーツ 活動

佐久総合病院のごあんない



· 人 長野厚生連 佐 久 総 合 病 院

〒384-0393 長野県佐久市臼田197番地 TEL(0267)82-3131 FAX(0267)82-9638 URL http://www.sakuhp.or.jp

生きがいと安心のある地域

佐久病院は昭和19年1月、産業組合(現在の農協)の病院として発足しました。当時南佐久郡23カ町村のうち13カ村は無医村でした。以来農村地域の医療を守る活動を続ける中で、私たちは一貫して「地域の住民の要望」に沿った仕事をしようと心がけてきました。



私たちの仕事は単なる病院としてだけではなく、保健・医療・福祉が一体化した総合的センターとしての役割を地域の中で果たしていくことだと考えています。

診療所から救命救急センターまでの第一線医療から高度 の専門医療、看護専門学校や農村医学研究所、農村保健研 修センターなどの教育・研究活動、巡回検診や人間ドックな どの保健活動、老人保健施設、在宅医療、訪問看護などの 福祉活動などさまざまな活動をとおして、「農民とともに」の 精神を忘れずに、つねに住民第一主義を貫き、地域を大切 に今後も取り組んでまいります。



佐久病院は「農民とともに」の精神で、医療および文化活動をつうじ、住民のいのちと環境を守り、生きがいある暮らしが実現できるような地域づくりと、国際保健医療への貢献を目ざします。

行動目標

- 第一線医療の充実と高度専門医療の向上をはかり、地域完結型医療体制の確立を 目指した病院再構築を実現します。
- 2 農業と地域社会の問題を直視し、メディコ・ポリス構想の精神を継承して、地域 の内発的発展に協働します。
- 3 研究と教育は病院の重要な役割であることを自覚し、佐久病院らしい医師教育、職員教育および研究活動の充実をはかります。
- 4 プライマリ・ヘルス・ケアを包含する農村医学の考え方を学習し、実践するとと もに、発展途上国の国際保健医療に貢献します。
- ま者さんを第一に考え、医療の質向上および患者安全、職員満足の向上を目的と する活動を推進します。

をお互 指示された療養については、 五 れを守ることを心がけ 患者さんの げることこそが大切 適切な治療を受ける 自己決定の 安全な医療を受ける 知関 医 プライ 人格を尊重され セカンド 苦情を申し立て 対らの人間としての倫 療上 る 係 二〇〇四年十二月改 法規 利 0 カして療養の効 才 情 報 を 院 ニオンを求 0 保 る権 說 証 明 3 利 ば理 規 を 院 利 n 则



質が高く心あたたまる 高度医療をめざして

救急医療・高度先進医療の実践

「住民の要望」の第一は、急病になった場合の対応です。救命救急センターを中心に、24時間の診療体制で必要なときに適切な治療をモットーに、職員全員で行うより良いチーム医療をめざしています。平成17年7月から、信州ドクターヘリが配備され全県下対象に運航が開始されました。この取り組みにより救命率の向上や予後の改善など、県民の安全・安心な暮らしの向上に期待が寄せられています。

また、良い医療、質の高い医療の提供のために、私たちは患者さんの それぞれの病状に対してきちんと対応のできる姿勢をもち、常に技術の 修練に励むとともに、高度先進医療にも広く取り組んでいます。



手術室での高度なチーム医療



救命救急センターで処置をする医師



日帰り手術センター



内視鏡的粘膜切開·剥離手術





訪問看護

誰もが地域で安心して 暮らせるために

在宅医療・福祉の取り組み

在宅医療福祉活動は、高齢社会の中で地域のニーズが大きくなってきています。地域ケア科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、宅老所、小海診療所などを中心に、住民の医療、及び介護サービスに取り組んでいます。



宅老所「やちほの家」

地域の中へ

第一線医療の取り組み

現在、多くの病院・診療所へ医師を派遣し、密接に連携しながら地域の第一線医療を実践しています。とくにへき地・農村山間部における健康管理活動や一般診療、在宅ケアにも積極的に取り組んでいます。





JR 小海駅舎内の佐久総合病院付属小海診療所



小海分院の秋祭り

お年寄りの介護は、みんなの力で

全国に先駆けた老人保健施設

昭和 62 年全国に先駆けて、厚生省のモデル施設の指定を受けて、病院と在宅を結ぶ中間施設として老人医療を支える活動が始まりました。老人保健施設は単なる「収容」の施設としてではなく、何よりもお年寄りが生きがいを持って暮らせるような、生活の場としての施設をめざしています。









健康な地域づくりをめざして

保健活動の取り組み

佐久病院は設立当初から予防活動、保健活動の取り組みに力を注いできました。

昭和 48 年には長野県厚生連健康管理センターが当院に併設され、現在では年間 7 万人を越す地域の皆さんが集団健康スクリーニングを受診されています。

人間ドックも早くから積極的に行い、がんを始めとする成人病(生活習慣病)などの早期発見・早期治療に全力を注いでいます。

また、地元の JA や市町村、ボランティアなど住民組織とのネットワークづくりも進めています。



集団健康スクリーニングの様子



らせん CT による検診



長寿信州・低医療費の基盤づくりに貢献

60年前から出張診療を始め、八千穂村の全村健康管理を実施、長野県全域の集団健康スクリーニングに発展、それが全国の集団検診のモデルになりました。住民の自主的な健康づくりの運動にも一緒に参加して「早期発見」「早期治療」「予防は治療に勝る」を合言葉に地域の人々とともに健康を守る活動に取り組んできました。長寿で、全国で最も低い医療費の長野県の健康特性を生み出す成果に貢献しています。



研修医教育の取り組み

安全で安心な農村に農民への思いやりの心を育む

佐久病院の研究・教育活動

佐久病院では終戦直後から農民の健康について調査研究に取り組んできました。

昭和 22 年からは臼田町の小満祭に合わせて「病院祭」を行っています。昭和 36 年には夏季大学講座を開講。昭和 38 年には日本農村医学研究所が設立。昭和 52 年にできた財団法人農村保健研修センターでは保健医療関係者の再教育研修の事業も行っています。

また看護師の養成や研修医教育指定病院として医師の教育にも力を注いでいます。



昭和36年から始まった夏季大学講座



あなたも白衣を着てみませんか



病院祭でパネル説明する栄養士

文化・スポーツ活動は 地域との交流の架け橋に

「ふれあいギャラリー」と「いこいの広場」は患者さん、地域のふれあいセンター

佐久病院にはコーラス・吹奏楽などの音楽部や、野球・バレー・卓球などの体育部、文化サークルもたくさんあり、地域の中での活動はもとより、県内外の大会にも出場し好成績をあげています。また、廊下には「ふれあいギャラリー」があり、定期的に地域の人たちの作品が展示され、文化の交流の場になっています。中央の待合ホールは夕方になると「いこいの広場」に早変わり、患者さんのためのコンサートなどが行われます。





いこいの広場でコーラスの発表会

佐久病院の あゆみ

昭和19年1月 病院開設 20年3月 若月俊一が外科医長として赴任 12月 出張診療活動を始める 22年5月第1回衛生展覧会「病院祭」を開催 10月 戦後、全国初の病院給食を行う 25年 カリエス手術に取り組む 29年4月 健康管理部を新設、保健予防活動にさらに力を入れる 9月 小海町診療所開設 34年6月 八千穂村全村健康管理始まる 36年8月第1回農村医学夏季大学講座開講 38年1月日本農村医学研究所設立 43年7月 臨床研修指定病院に指定される 44年10月 第4回国際農村医学会議開催(於臼田町) 48年10月 長野県厚生連健康管理センター併設。 全県下にわたる「集団健康スクリーニング」開始 52年11月 農村保健研修センター設立、教育研修事業始まる 58年3月 がん診療センター完成 10月 救命救急センター(ICU)完成 62年4月 佐久総合病院老人保健施設開所 (全国7モデルの一つ) 平成 6 年 4 月 地域災害拠点病院に指定される 5月 県内初の日帰り手術センター設立 9月 療養型病床群(完全型)開設 10月 地域医療部を新設し、「地域ケア科」を確立 13年4月 佐久総合病院美里分院、老健こうみ開設 15年4月 小海赤十字病院の後医療を受け、小海分院開設

当院の診療圏は神奈川県よりや や広い診療圏を有するものの、人 口密度はその20分の1に過ぎな い。ことに南部には多くの過疎地 が存在し、医療機関は極端に少な い。このような地域の全ての国保 診療所に常勤医師を派遣し、その 中核となる分院や付属診療所、老 健、特養、訪問看護ステーション、 居宅介護支援事業所、地域包括支 援センター、さらには宅老所を運 営し、これらが有機的、機能的に ネットワークを形成し、面として の地域包括的医療を担っている。

続性に繋がるのではないだろうか。

保健・医療・福祉の充実が地域社 会のセイフティネットの基盤であ り、文化活動をも促し、社会の継

佐久病院の 地域医療ネットワーク

23年12月 佐久総合病院佐久医療センター新築工事の起工式が行われる

17年7月 新小海分院完成

7月 信州ドクターヘリ運航開始



佐久総合病院の概要・関連施設



名 称/長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院

所 在 地/長野県佐久市臼田 197 番地(〒 384 - 0393)

電 話/TEL 0267 (82) 3131 (代表) FAX 0267 (82) 9638

ホームページ/ http://www.sakuhp.or.jp

開 設/昭和19年1月12日

no18/4 1423 (2014.1)

開設 者/代表理事理事長 内 堀 茂

総括院長/伊澤 敏

標榜科目/内科・精神科・神経内科・呼吸器科・胃腸科・アレルギー科・小児科・ 外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・気管 食道科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科・矯正歯科・ 歯科口腔外科・心療内科・リウマチ科・循環器科(診療科目とは異なる場合があります。受診の際はご相談ください。)

病 床 数/一般病床(600 床)、ICU(20 床)、精神科病床(112 床)、感染症病床(4 床) 療養型(回復期リハビリテーション)病棟(40 床)、人間ドック(45 床)、合計821床、小海分院99床、佐久老人保健施設94床、老人保健施設こうみ80 床、小海診療所無床

関連施設/佐久総合病院看護専門学校・財団法人日本農村医学研究所・長野県 厚生連健康管理センター・財団法人農村保健研修センター・佐久東洋 医学研究所・訪問看護ステーションうすだ・訪問看護ステーション やちほ・訪問看護ステーションのざわ・訪問看護ステーションあさ しな、訪問看護ステーションこうみ・宅老所「やちほの家」・の ざわ居宅介護支援事業所・臼田地域包括支援センター・佐久総合病 院介護支援室

諸 指 定/臨床研修指定病院・地域がん診療連携拠点病院・へき地医療拠点病院・救命救急センター・地域災害医療センター(災害拠点病院)・エイズ治療拠点病院・二種感染症指定医療機関・地域周産期母子医療センター・心臓疾患基幹病院・認知症疾患医療センター・高次脳機能障害拠点病院等

※当院は財団法人日本医療機能評価機構の定める認定を受けています。



小海分院

※交通機関の案内

しなの鉄道小諸駅より小海線乗り換え臼田駅下車、徒歩10分高速バス池袋-臼田線・長野-臼田線(佐久病院終点) 長野新幹線佐久平駅より車で20分 中部横断自動車道佐久南I.Cより約10分



長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター

平成 23 年 12 月

佐久総合病院理念

佐久病院は「農民とともに」の精神で、医療および文化活動をつうじ、住民のいのちと環境を守り、 生きがいある暮らしが実現できるような地域づくりと、国際保健医療への貢献を目ざします。

● 建築概要

建築主 :長野県厚生農業協同組合連合会

建設敷地:長野県佐久市中込西大堰手前 3400 番 28

用途地域:準工業地域 敷地面積: 129,100.05 ㎡ 建築面積: 20,442.79 ㎡ 延べ面積: 49,861.57 ㎡

構 造:鉄骨鉄筋コンクリート造

一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

階数:地下1階、地上4階

建物高さ:GL+19.90m

工事期間:2011/12/16~2013/9/30予定

● 建築コンセプト

佐久総合病院の再構築事業として、2次3 次救急医療及び専門的技術を要する診療機能を中心とした450 床の病院。広大な土地、佐久地方の気候特性を活かし、低層で森の中にたたずむ雰囲気で自然光に満ちたエコホスピタルのモデル病院を目指し、地域及び日本の医療をリードします。

- ・急性期病院にふさわしい明快な機能構成
- ・広大で緑豊かな敷地の特性をいかした療養環境
- ・医療の進歩や医療需要の変化に対応する成長する病院
- スタッフが誇れる働きがいのある病院
- ・佐久地方の気候に根差したエコホスピタル
- ・様々なリスクへの備えを徹底した、安心・安全な病院



外観イメージ

● 重点的に整備する4つの医療機能

救急救命医療機能

重症および複数の診療領域にわたる 重篤な救急患者に対して、高度な救 命救急医療を24時間の横断的組織体 制で提供します。

がん診療センター機能

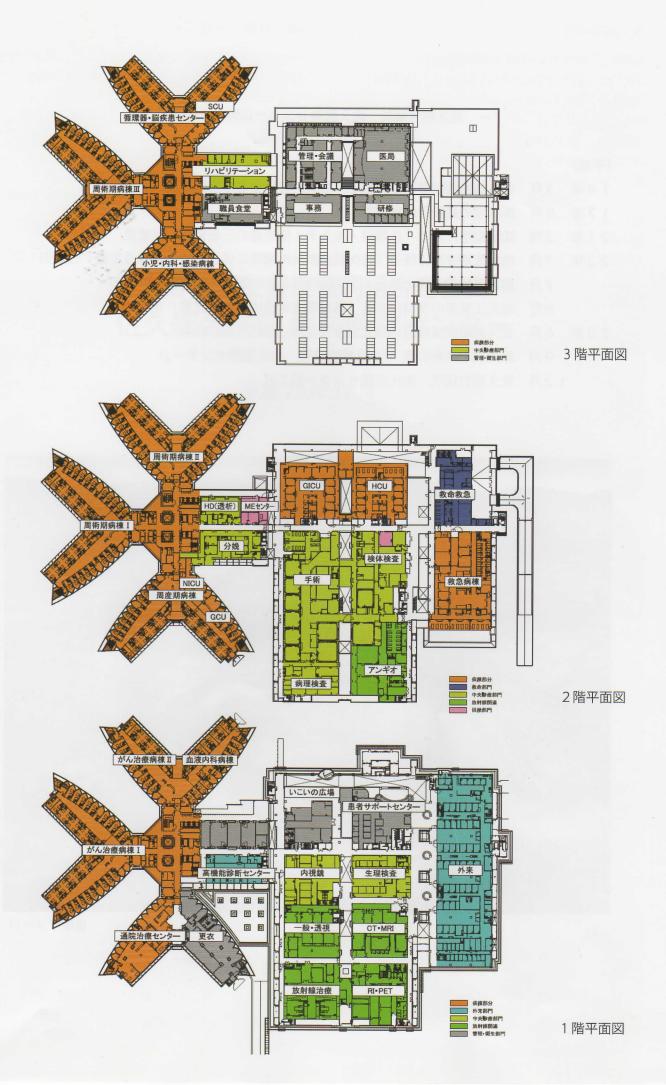
佐久医療圏における地域がん診療連 携拠点病院として、内科・外科・放 射線科・緩和ケアなどの医療チーム により集学的治療を実施します。

脳卒中・循環器病センター機能

脳血管疾患・循環器疾患等に対して、 外科治療及び薬物・カテーテル治療 を含めた内科的治療をすみやかに安 全に実施するとともに、リハビリテー ション、栄養部門等との連携による 総合的な治療を実施します。

周産期母子センター機能

ハイリスクの母子を 24 時間体制で受け入れ、妊産婦・胎児・新生児の管理・治療を産科・小児科等のチームで実施します。安全・安心なお産を目指します。



一 佐久総合病院 佐久医療センターに係る主な経過 一

(平成)

- 14年 3月 佐久総合病院運営委員会で「機能分化による病院再構築」を承認
- 17年 8月 新病院の建設用地を取得
- 21年 2月 知事裁定による「長野県・佐久市・厚生連の三者協議」が合意
- 22年 7月 地域医療連携に係る「佐久総合病院再構築に係る医療体制等協定書」の調印
 - 7月 周辺住民の環境に係る「生活環境保全等に関する協定書」の調印
 - 8月 地元工業者の環境に係る「事業環境保全に関する覚書」を締結
- 23年 6月 佐久都市計画用途地域変更及び北中込地区計画が告示
 - 9月 新病院の名称公表(「佐久総合病院 佐久医療センター」)
 - 12月 佐久総合病院 佐久医療センター起工式



鳥瞰イメージ